

花 橘

発行日

令和5年5月26日

第3号

発行・編集

三崎高校総務課

「あなたは何でできている？」

保健主事 岩井 小百合

「これで鞍掛虎鱈（くらかけとらぎす）って読むんですね。」
「鰭（さわら）。あつ、今日の給食に出ました。」

ランチルームに伊方町学校給食センターからいただいた「愛媛のおさかな」という大きなポスターを貼っています。毎日、このポスターを見ながら、二人の生徒が楽しそうに話していて、清掃前の一時、そこに入れてもらおうのがちよつと楽しみになっています。地元の生徒も食べたことがないであろう魚もたくさん載っていますが、二人の会話は、知らないことを知ろうとする興味関心に溢れていて、聴いていると不思議とこちらまでワクワクしてくるのです。

さて、残念なことに現在は魚離れが進んでいます。年齢を重ねるほど魚を食べるようになる「加齢効果」は、魚をあまり好まない、食べない今の子どもたちには期待が難しい「効果」かもしれません。が、子どものころに食べた物の記憶は、その後の食生活に影響を及ぼすと言われています。伊方町学校給食だよりに、「人を良くすると書いて【食】とありました。本校は高等学校では珍しい給食実施校ですが、小・中・高校十二年間給食を食べた生徒が卒業の際に、「僕は給食で育ちました。」と感謝を述べていました。

毎月十九日は食育の日です。食べ物の食べ方の大切さについて、少し真面目に、そして楽しく考える日にしてみてください。

保小中高合同避難訓練

5月13日(土)に三崎保育所・小学校・中学校と合同で避難訓練を実施しました。この訓練は南海トラフ地震を想定して行われており、津波から避難するために高台にある本校まで避難してきます。今年度から全員が折り畳み式ヘルメットを着用しています。寮生は寮での被災を想定し、途中で合流した園児や小学生を励ましたり、車いすを押したりする役割を与えられています。校内での被災を想定した生徒たちは、避難所の設営(テントや簡易ベッドの設置)や非常食の準備を分担して行いました。

とある生徒は「ちょうど前日に三崎で地震があったので緊張感を持って訓練できた。訓練でできたことを実際に行えるようにしたい。」と話してくれました。非常に有意義な訓練となりました。

